

◇ 令和 6年度 指定管理者事業評価書

施設名	草津市立橋岡会館・橋岡教育集会所			指定管理料	利用料金	支出	経理の状況	施設運営の方針
施設所管課	人権政策課	児童生徒支援課	初年度	36,781,000円		37,306,601円	光熱水費の上昇等で指定管理料を支出が上回っているが、昨年度の執行残や指定管理事業運営支援金等で対応されている。	協定に基づきサービスの安定と良質な経営を図る。
施設HPアドレス	<a href="https://netsutohikari.or.jp/">https://netsutohikari.or.jp/</a>		2年目	36,781,000円		35,909,258円	昨年度に続き光熱費の上昇があったが、省エネに努め、経費の節減をはかった。	協定に基づきサービスの安定と良質な経営を図る。
指定管理者名	NPO法人熱と光		3年目	36,781,000円		35,027,417円	適正な予算執行がなされた。	協定に基づきサービスの安定と良質な経営を図る。
指定期間	令和4年4月1日 ～ 令和7年3月31日		4年目					
評価対象期間	令和6年4月1日 ～ 令和7年3月31日		5年目					

●総合評価の基準		
5	☆☆☆☆☆	評価基準のすべてが☆☆☆以上で、かつ、最も多い評価が☆☆☆☆☆である
4	☆☆☆☆	評価基準のすべてが☆☆☆以上で、かつ、最も多い評価が☆☆☆☆である
3	☆☆☆	評価基準の最も多い評価が☆☆☆である
2	☆☆	評価基準の最も多い評価が☆☆である
1	☆	評価基準に☆が1以上ある

○その他の項目	
公募・非公募の別	非公募
使用料・利用料金制の別	使用料
指定管理者による運営開始日	平成31年4月1日
施設の供用開始日	昭和46年4月1日
指定管理導入前の運営形態	市直営 + 一部事務委託

◆総括評価を概括した総合評価の所見(成果・改善等)

●指定管理者の総合自己評価…☆☆☆	●市(施設所管課)の総合評価…☆☆☆
<b>年度の管理・運営に係る事業目標(年度当初に記入)</b> 隣保館及び教育集会所を適正かつ効率的に運営管理し、施設の活用を図り、機能を十分に発揮し、生活上の各種相談事業や人権課題の解決のための各種事業を総合的に行う。	<b>事業目標および管理・運営に対する評価(事業年度終了後記入)</b> 各種事業について、仕様書に定められた基準を概ね満たしている。 清潔・安全な施設の維持管理に努めるなど、利用者目線に立った運営ができている。 いずれの業務においても、講座等の開催数や利用者数において、概ね前年度と同程度の水準を保っており、今後も利用者のニーズに応じて適切な事業運営に取り組んでいただきたい。
<b>事業目標および管理・運営に対する自己評価(事業年度終了後記入)</b> 今年度も、橋岡会館・橋岡教育集会所の管理運営に当たり、各仕様書に基づいて業務を遂行した。両施設では、各感染症予防に徹底し、各講座・教室に参加者が気持ちよく、参加できるよう心がけ、4S的な取り組みとして、清潔・清掃・安心安全を心がけた。また、年、5回の福祉と人権講座でや、年3回の提案事業では、部落問題をはじめとする、あらゆる差別の撤廃に向けた講座や人権学習を取り入れ活動することが出来た。教育集会所においても、未就園児の活動及び小学生から中学生までの各教室での学習や仲間づくりをしました。その中でも、メイン事業である自主活動学級及び部落問題学習など、地域の方や支部・各校園所・館との協力を得ながら実施することが出来た。	<b>公募・非公募、使用料・利用料金制の導入についての効果の検証</b> 地域の実情に精通したNPO法人を非公募で指定したことにより、訪問による相談事業等、利用者との関係が構築できている。 貸館については、減免利用が多く、貸館収入は年間で42,800円と少額であることから、利用料金制を導入するメリットが少なく、現行の使用料制が適している。

◇施設に係る主な指定管理業務
・草津市立橋岡会館と草津市立橋岡教育集会所の運営及び維持管理に関すること。 ・草津市立隣保館条例第3条および草津市立教育集会所設置条例第7条に掲げる事業の企画・運営に関すること。

・草津市立橋岡会館と草津市立橋岡教育集会所の運営及び維持管理に関すること。

◆評価基準	
☆☆☆☆☆	仕様書・協定書等の基準を遵守し、その水準よりもはるかに優れた内容である
☆☆☆☆	仕様書・協定書等の基準を遵守し、その水準よりも優れた内容である
☆☆☆	仕様書・協定書等の基準を遵守し、概ねその水準に沿った内容である
☆☆	仕様書・協定書等の基準は遵守し、若干の改善が必要な内容である
☆	仕様書・協定書等の基準を遵守しておらず、改善が必要な内容である

仕様書P2 1 草津市立隣保館条例第3条および草津市立教育集会所設置条例第7条に掲げる事業の(2)文化の向上、社会福祉の増進および健康水準の向上に関する業務について					
評価項目1	指定管理者の自己評価			市(施設所管課)の評価	
	上半期評価	今年度は、予定していたすべての定期講座や人権講座、各種子どもの講座・教室などの実施をすることが出来た。講座の人数もコロナ禍前の人数を上回る参加者となっていたと考えられる。ボランティア活動の(灯)や福祉と人権など様々な形から取り組むことが出来、地域交流や啓発に務める事が出来ました。		上半期評価	仕様書の内容に沿った事業を実施できており、当初の計画どおり事業を進めることができています。前年度同時期と同様のペースで実施できており、参加者数も微増していることから、利用者のニーズに合わせた事業実施に努められていることが伺える。
	☆☆☆			☆☆☆	
	下半期評価	昨年同様に、近年の災害での対応なども課題となってきた。今後も課題となるので、研修や対応を検討していきたい。尚、各講座・教室などに関して、年5回の福祉と人権講座や提案事業での内容や講師の内容に関しても、今現在の部落問題課題や同和問題課題に関して、あらゆる目線から、発信して行く必要があると思われる。		下半期評価	仕様書の内容に沿った事業を実施できている。アンケート結果が良好であることや、講座終了後も受講者が自主的にサークルを結成して活動していることなどから、満足度の高い講座を実施できていることがわかる。
	☆☆☆			☆☆☆	

仕様書P3 1 草津市立隣保館条例第3条および草津市立教育集会所設置条例第7条に掲げる事業の(3)相談・支援に関する業務について					
評価項目2	指定管理者の自己評価			市(施設所管課)の評価	
	上半期評価	各種、相談・支援に関しては、継続で続けている方他、新たな相談業務が増加している。障害者支援・就労支援・地域内での相談が多く見られた。尚、訪宅や会館への来館での相談もあり、対応できる範囲での対応に時間をかけ継続的に対応できた。		上半期評価	相談件数は前年度同時期に比べて増加しており、地域住民に寄り添った相談業務を実施することができている。また、継続での相談も多く、訪宅も積極的に実施されていることから、手厚い相談体制を整えているといえる。
	☆☆☆			☆☆☆	
	下半期評価	町内に引っ越しをされる方が増加し続けるものの、地域・地元の方は減少している。各支援を続けている中で、継続で続けている方他、新たな相談業務が増加している。障害者支援・就労支援・地域内での相談が多く見られた。尚、訪宅や会館への来館での相談もあり、対応できる範囲での対応に時間をかけ継続的に対応できた。		下半期評価	訪問による相談を積極的に実施しており、地域住民等に寄り添った業務を実行できている。相談内容に応じて関係機関との連携を密接に行っており、効果的な助言指導を行ったことが、相談内容の解決や件数の減少に繋がっているものと考えられる。
	☆☆☆☆			☆☆☆	

仕様書P5 1 草津市立隣保館条例第3条および草津市立教育集会所設置条例第7条に掲げる事業の(4)教育に関する業務について					
評価項目3	指定管理者の自己評価			市(施設所管課)の評価	
	上半期評価	自主活動学級と部落問題学習を中心に部落差別やあらゆる差別問題、人権学習への学びを実施することが出来た。自主活動学級においては、橋岡町内住民対象下での参加者でも、新たな参加者の増加や保護者の理解も得ながら活動することが出来ていた。部落問題学習も、過去最高の参加者があり、地域の方や支部の方とも協力しながら実施することが出来た。		上半期評価	自主活動学級では、子どもたちが町内にある施設に注目し、その由来や役割について調べたり、ハンセン病について学んだりしていた。教育担当者が部落問題学習やミニ解放文化祭等において講座を担当したり、差別解消に向けた思いを語ったりするなど、主体的に運営される姿が見られた。
	☆☆☆			☆☆☆	
	下半期評価	メイン事業としている、自主活動学級を中心に部落差別やあらゆる差別問題、人権学習への学びを実施することが出来た。自主活動学級においては、橋岡町内対象ではあるが20人～30人の割合で小学生・中学生と共に参加している。地域・地元の子どもたちが1割と満たない状況ではあるが、保護者、子どもたち共に、理解を深めて参加し活動出来ている。		下半期評価	計画に基づいて各種事業を実施することができた。差別解消への思いや児童生徒につけたい力など、教育担当者の思いが事業に反映されており、取組を進める上での指針となっている。参加児童生徒はその思いを受けて教育集会所での学びを積み重ね、最後の自主活動学級では学んできたことや会館、橋岡町への思いをそれぞれの形で発表することができた。
	☆☆☆☆			☆☆☆☆	

仕様書P5 1 草津市立隣保館条例第3条および草津市立教育集会所設置条例第7条に掲げる事業の(6)提案事業に関する業務について					
評価項目4	指定管理者の自己評価			市(施設所管課)の評価	
	上半期評価	8月に栗木 剛さんより「人の世に熟あれ 人間に光あれ」～お互いさまで支え合う地域づくり～として講演をしていただきました。各提案事業においては、地域交流を含め様々な学びと良い経験に繋がりました。		上半期評価	計画どおり、仕様書に沿った事業を実施できている。講演会の開催にあたっては、老上西まちづくりセンターとの共催や、チラシの作成・配布等による周知活動等により、多くの方に参加していただくことができた。アンケート結果も良好であり、満足度の高い事業を実施できているといえる。
	☆☆☆			☆☆☆	
	下半期評価	12月に、よもやま劇場さんに来ていただき、「みんなで歌おうカラオケタイム」を実施し、コロナ禍では出来なかった、地域交流が昨年から出来るようになり、とても有意義なひと時を過ごすことができたという、参加者の方々からの感謝のお声をいただきました。7年2月に「人権コンサート」として丘につづく径さんにきていただき歌やお話をさせていただきました。自らの体験談や歌によって心温まる時間を体験出来ました。		下半期評価	計画どおり、仕様書に沿った事業を実施できている。1開催あたりの参加者数は前年度と同水準を保っており、老上西まちづくりセンターとの共催等から、町外からも参加者を集めるために尽力されていることが伺える。下半期は、人権コンサートや、カラオケといった事業を開催され、参加者が楽しみながら学び、地域交流を深める機会を提供することができた。
	☆☆☆☆			☆☆☆	